

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和 3年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービス「てくてく」

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動には十分なスペースを有している	
	2	職員の配置数は適切である	○		人員配置基準を十分上回る職員数を配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内は全面バリアフリーとなっている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			より支援に生かせるミーティングの在り方について改めて考えていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページの存在を知らないという保護者からの意見も出ているため、周知していきたい
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価については今後実施していきたいと考えている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		計画していた研修が実施できていない状況であるため、実施に向けて調整していきたい
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		適当なアセスメントツールが見つければ活用していきたい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童や保護者からの要望も取り入れながら立案している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		当日、支援にあたるスタッフ全員で打ち合わせを実施している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		勤務時間の関係で翌日に実施している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインに則り活動を組み合わせている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		行事予定表や時間割変更など随時学校からの情報提供がある	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			医療的ケアの必要性が高い児童の受け入れに再指定は緊急時の対応などについてあらかじめ主治医と面談の機会を設けている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		能動的に情報提供を求める等は行っていないため、必要に応じて情報共有に努めたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		求められれば情報は提供しているが、自発的に提供は行っていないため、今後は自発的に情報提供に努めたい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修には積極的に参加している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		活動の中で児童館を利用している	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		放課後等デイサービスからの参加は積極的に行っていないので今後参加を促していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者への支援は不十分であると認識しており、その手段や方法については検討していきたい
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			より相談しやすい環境づくりとスタッフの資質向上を目指していきたい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者からの意見を聴取し、必要があれば開催も検討していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSを中心として活動報告を行っている	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○		外国籍の方とのコミュニケーションについてはまだ課題がある。適当なツールなどがあれば活用してスムーズな意思疎通に努めたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域との交流の機会が減っているため、その手段について検討していきたい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		マニュアルは策定しているが、保護者の方には周知していない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会を設立し対策している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		指示書ではなく、保護者からの情報提供のみで対応している。必要に応じて指示書の提出を求めたい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		ヒヤリハット報告書は作成しているが、事例集は作成していないので、作成していきたい。